



平成 21 年 3 月 6 日

報道関係各位

ACC・カンヌ・ヤング・クリエイティブ・コンペティション国内選考会結果発表

激戦を制したのは、

フィルム部門 高島 夏来さん (所属会社 (株)東北新社)、

武井 哲史さん (所属会社 (株)アサツー ディ・ケイ)

プレス部門 工藤 真穂さん、土居 美由希さん (所属会社 (株)電通)

社団法人 全日本シーエム放送連盟

社団法人 全日本シーエム放送連盟（略称：ACC、東京都港区、理事長：永田 圭司）は、国際的に通用する若手クリエイターの育成を目的として、2009 ACC・カンヌ・ヤング・クリエイティブ・コンペティション国内選考会を実施しました。3月6日に選考会を開催して慎重に審査した結果、優勝はフィルム部門で高島 夏来さん（所属会社 (株)東北新社）、武井 哲史さん（所属会社 (株)アサツー ディ・ケイ）のチーム、プレス部門で工藤 真穂さん、土居 美由希さん（所属会社 (株)電通）に決定しました。優勝チームは6月にフランス・カンヌ市で開催される「カンヌ ヤング クリエイティブ コンペティション」に参加し、世界各国代表の若手クリエイターとクリエイティブのアイデアと技術を競うことになります。

当連盟国際部会では、海外の著名広告コンクールの入賞作品を積極的に紹介していくことで、わが国のクリエイターに常に新しい世界からの情報を提供しCMの質的向上に努めております。海外広告賞の中でも最も権威があると称されている「カンヌ国際広告祭」に関しては、現地視察ツアーのご案内、現地会場でのACCラウンジ開設及び専用の登録ブースの設置、入賞作品研究発表会の開催、さらにはフィルム部門審査員選考、そしてヤング・クリエイティブ・コンペティション日本代表チーム選出をしております。

2009ACC・カンヌ・ヤング・クリエイティブ・コンペティション国内選考会では、今年も「フィルム部門」「プレス部門」の2部門で実施、テーマはフィルム部門が「ネットいじめ」、プレス部門が「アニマルセラピー」でした。選考は、現地の「ヤング・クリエイティブ・コンペティション」と同様に英語でのオリエンテーション後、規定時間以内に作品を提出していただき、その作品をカンヌの審査員経験者による審査という方法で行いました。本年はフィルム部門 104 チーム 208 人（昨年は 104 チーム 208 人）、プレス部門に 134 チーム 268 人（昨年は 132 チーム 264 人）が参加、熱戦を繰り広げました。審査会は3月6日に行われ、その結果は当日午後6時30分より開催された発表会（セレブレーションパーティ）で発表しました。

実施要領と結果は別紙のとおりです。

この件に関するお問い合わせ先

(社) 全日本シーエム放送連盟 (ACC)

〒105-0004 東京都港区新橋 3-1-11 長友ランディックビル 5階

電話 03-3500-3261 FAX 03-3500-3263

ホームページ <http://www.acc-cm.or.jp>

担当：古川



2009 ACC・カンヌ・ヤング・クリエイティブ・コンペティション国内選考会
結果と実施要領

<結果>

【フィルム部門】

* 優勝者 高島 夏来さん (所属会社 (株)東北新社)、
武井 哲史さんのチーム (所属会社 (株)アサツー ディ・ケイ)

2位 鶴見 至善さん (所属会社 (株)博報堂)、
黒柳 勝喜さんのチーム (所属会社 (株)葵プロモーション)

3位 キリーロバナージャさん、田口 麻由さんのチーム (所属会社 (株)電通)

【プレス部門】

* 優勝者 工藤 真穂さん、土居 美由希さん (所属会社 (株)電通)

2位 細田 高広さん、中島 可奈子さんのチーム (所属会社 (株)博報堂)

3位 小林 諒さん (所属会社 ビーコンコミュニケーションズ(株))
黒岩 美桜さんのチーム (所属会社 (株)ジェイアール東日本企画)

<スケジュール>

オリエンテーション	2月23日(月)	プレス部門/フィルム部門
作品提出	プレス部門	2月24日(火)
	フィルム部門	2月25日(水)
選考会	3月6日(金)	
セレブレーションパーティ	3月6日(金)	18:30~選考結果発表と講評、参加者懇親会

<オリエンテーション>

審査員から英語でオリエンテーションを実施します。課題は当日発表します。

<審査員> ***カンヌ審査経験者を中心としたメンバーにより選考

大谷 義智氏 (読売広告社)
鏡 明氏 (電通)
河野 俊哉氏 (博報堂)
川越 智勇氏 (アサツーディ・ケイ)
永井 一史氏 (HAKUHODO DESIGN)
溝口 俊哉氏 (マツキャンエリクソン)



<課題と提出作品への指示> ※フィルム部門とプレス部門は別課題

【フィルム部門】

- テーマ:「ネットいじめ」 Cyber-bullying
- クライアント: TCB (Think Cyber-bullying)
- 提出物: TVCM30秒
- 「ネットいじめ」は、深刻な社会問題となりつつあります。匿名性があるため、簡単にいじめが横行しやすく、問題を深刻化させています。また、通常がいじめよりも第三者に発覚しがたく、この為、被害者が突発的に自殺してしまった場合、何が原因で自殺したのか周りの人からは皆目見当もつかなくなるという危険性もはらんでいます。「ネットのいじめ」の悪質さ陰湿さに気づかせ、やらない、参加しないよう促すとともに、インターネットという便利なコミュニケーションツールをどう使うべきか、ターゲットに自らに考えさせる広告を作ってください。

【プレス部門】

- テーマ:「アニマルセラピー」 Animal Therapy
- クライアント: HAHC (Human Animal Health Connection)
「アニマルセラピー」を通じて病気の人たちの生活向上を目指す活動団体。
- 提出物: 雑誌見開き
- 「アニマルセラピー」とは、医師、看護婦、理学療法士、作業療法士などの医療従事者が、動物とふれあいを通じた活動とセラピーをすることで、患者一人ひとりの精神的回復から、肉体的な健康をめざす療法（セラピー）です。これらの療法（セラピー）は、試行的に行われているのが現状であり、また一般の人々も、ペットを飼うことや、動物園で動物とふれあうことと同じに感じています。「アニマルセラピー」の真の価値を知らしめつつ、効果的療法として認識してもらえるよう雑誌広告で啓蒙してください。但し、このセラピーにより、完治するという誤解を受けることは避けてください。

<選考結果発表>

選考の結果は、審査当日に発表会（セレブレーションパーティ）を開催して、その席で発表。発表の際に、審査員から講評。

（セレブレーションパーティ会場には、全エントリー作品が掲示される）

発表会にはエントリーチーム全員をご招待し、ACC理事、国際部会委員及び関係者も出席。



<カンヌ国際広告祭日本代表>

株式会社東映エージェンシー

<協力と協賛>

ゲッティ イメージズ ジャパン株式会社

カンヌ国際広告祭公式イメージプロバイダー会社であるゲッティ イメージズ ジャパン株式会社より本コンペティション(プレス部門)への素材の提供をいただいております。

株式会社アサツー ディ・ケイ

株式会社オムニバス・ジャパン

株式会社東北新社

株式会社博報堂

<カンヌ国際広告祭 ヤングクリエイティブコンペティションとは>

1995年から始まったカンヌ国際広告祭でのスペシャルイベントとして注目される催しです。世界30ヶ国以上の国別代表チーム(28歳以下のクリエイター)が出場し、現地において出題された同一課題に対して規定時間以内に作品を提出し、競われるクリエイティブコンペティションです。1位~3位までのチームは、現地の表彰式にて顕彰されます。

<ご参考：これまでの国内選考会の課題と優勝者>

【フィルム部門】

年	課題	優勝者
2006	フカひれの需要を抑制する	(株)電通 佐藤 玲彦 大島 美緒
2007	もっと歩こう!	(株)電通 北田 有一 (株)葵プロモーション 菊池 浩史
2008	もっと読書を!	オグルヴィ・アンド・メイザー・ジャパン(株) 杉山 元規 長部 洋平

【プレス部門】

年	課題	優勝者
2003	遺伝子組換食品	(株)電通 山田慶太 佐藤 拓
2004	ユニバーサルデザイン	(株)電通 藤井 亮 張間 純一
2005	小児肥満問題	(株)電通 後藤一臣 神原 秀夫
2006	少年犯罪	(株)博報堂 下東 史明 宮脇 亮
2007	動物園で虐待されている動物の救護	(株)アサツー ディ・ケイ 青柳 有美子 砥川 直大
2008	少年兵の禁止	(株)ライトパブリシティ 大野 瑞生 武田 正文

(敬称略)